

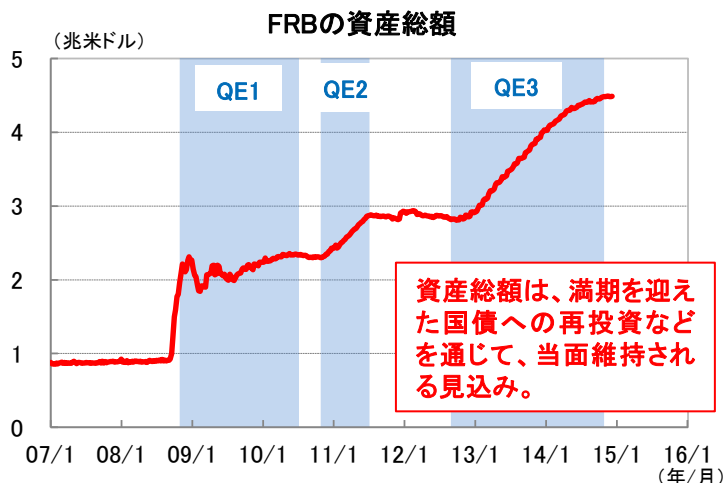
今日のトピック 米国の金融政策(2014年12月)

低金利を「相当な期間」継続、利上げ開始まで「忍耐強く」

ポイント1 来年の利上げ開始へ一歩前進

「忍耐強く」は前回利上げ前にも使用

- FRBは12月16日～17日のFOMCで、現行の低金利政策の維持を決定しました。
- 前回10月にQE終了を決めた直後の会合であり、市場の注目は、金融政策そのものではなく、利上げ開始時期を示唆する文言の修正に集まっていた。
- 今回の声明文では、低金利政策を「相当な期間」維持するとの表現が残されたことに加え、新たに、利上げ開始まで「忍耐強く」待つ、との文言が追加されました。「忍耐強く」は2004年の利上げ開始前にも使われたことから、金利正常化へ向けたプロセスが一步進んだと受け止めることができます。

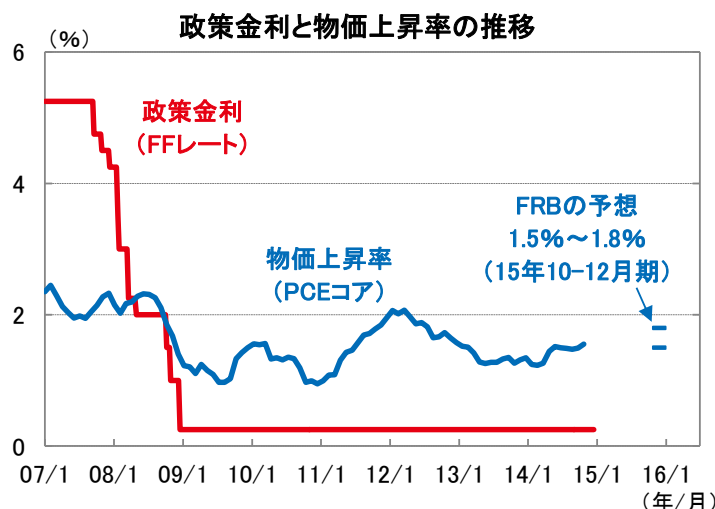


(注) データは2007年1月3日～2014年12月10日の週次。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 物価の予想を下方修正

成長率見通しに大きな変化無し

- 今回は3か月に一度の経済見通しの改定も公表されました。2015年10-12月期のGDP成長率は、前回9月時点の予想(前年同期比+2.6%～3.0%)が据え置かれました。
- 一方同じ時期の物価(PCE物価指数)は、9月時点の同+1.6%～1.9%から、同+1.0%～1.6%に大幅に下方修正されました。最近の原油価格の下落を受けたものと見られます。
- ただし、食品・エネルギーを除く物価(コア、同+1.5%～1.8%)は、小幅な下方修正にとどまり、また、FRBメンバーによる利上げ時期の予想にも大きな変化がなかったことから、市場での利上げ時期の予想にも大きな変化はうかがわれません。



(注) FFレートは2007年1月5日～2014年12月17日の週次。
2008年12月以降のFFレートはターゲットレンジ0.00%～0.25%の上限を表示。
物価上昇率は2007年1月～2014年10月の月次。PCEコア物価指数の前年同期比。FRBの予想はPCEコア物価指数の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 2015年半ば以降の利上げ開始見通しに大きな変化は無し

- イエレンFRB議長は会見で、「忍耐強く」とは、今後数回の会合において利上げが実施されることを意味しないとしました。早期の利上げ観測が強まることを警戒したものと見られます。
- 雇用は着実に改善傾向にあり、また、物価はFRBの目標+2%に向けて緩やかながら進展が見られます。これらの進展がより確実となる来半年ば以降に利上げが開始されると予想されます。

ここも チェック!

2014年12月11日 最近の指標から見る米国経済(2014年12月)
2014年12月08日 米国の雇用統計(2014年11月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。